

目次

アラカルト「認知症」	1・2
患者数	2
てんじん文化祭 2014 病院がプラネタリウム	3
ひまわりつうしん	4
看護部だより	5
糖尿病教室お食事会のお知らせ 医療安全管理室より	6
外来医師担当表	7

発行：独立行政法人 甲府病院 広報委員会
国立病院機構
発行責任者：長沼博文
住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町 11-35
電話：055-253-6131
ファックス：055-251-5597
ホームページ：<http://www.hosp.go.jp/~kofu-hospital/>
(新しいページへ移転しました)
Eメール：kofu@kofu.hosp.go.jp



「JCHO 山梨病院との合同研修」

10月1日、当院大会議室におきまして、社会医療法人加納岩日下部記念病院院長の久保田 正春先生を講師としてお招きし、「認知症患者の周辺症状に対する対応について」と題して講演会を行いました。
今回の講演会は初の試みとして、JCHO（独立行政法人地域医療機能推進機構）山梨病院との合同研修会、という形で開催され、当日は当院、JCHO 山梨病院双方あわせて150名以上の職員が、久保田先生の講演を拝聴していました。
当院とJCHO 山梨病院では、今後もこのような合同研修の機会を設け、ともにスキルアップすることで、地域の皆様により安全で質の高い医療を提供していきたいと考えています。



独立行政法人 国立病院機構 **甲府病院** の理念
National Hospital Organization Kofu National Hospital

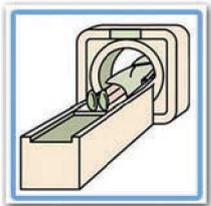
理念

私たちは、良質な医療の提供を通して、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

基本方針

- 丁寧な説明に努めます
- 自己研鑽に励みます
- 職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします
病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します



アラカルト

「認知症」

病院長 長沼 博文

平成 20 年 4 月に物忘れ外来を始め、これまで延べ 820 人余りの患者さんの認知症診断を行ってきました。最近、認知症の一步手前の状態（軽度認知機能障害と言います）の患者さんの受診が増えています。最近テレビでもよく認知症についての番組が放映され、患者さんからあの薬（例えば、シロスタゾール）はどうですか？ と聞かれる事が増えました。認知症は軽い段階で診断し、治療介入を始める事が大事です。

認知症の診断：

物忘れ外来では、受診時に日常生活の様子をチェックリストで調べ、次いで採血検査（甲状腺機能、ビタミン B 12 等）、MRI / CT 検査、神経心理検査（認知機能の検査）を行います。認知症が疑われる場合には、さらに脳血流シンチ検査を行い脳の活動が低下している部分を調べます。それらの結果から、認知症のタイプを診断します。

認知症の種類：

一番多いのは、アルツハイマー型認知症で、その他脳血管性、前頭側頭葉変性症、レビー小体型認知症などがあります。レビー小体型認知症では、パーキンソン症状や幻視を伴うことが特徴です。

認知症に対する治療：

これまでアルツハイマー型認知症に対しては、長い間ドネペジル（コリンエステラーゼ阻害薬）という薬剤のみでしたが、最近同じ系統のガランタミンとリバスチグミンが使えるようになりました。又、異なった作用を持つメマンチンも使えるようになりました。レビー小体型認知症にもドネペジルの有効性が報告されています。

それ以外には、ビタミン E、鯖等に含まれる油成分（エイコサペンタエン酸；EPA、ドコサヘキサエン酸；DHA）等が疫学的に効果があると考えられています。

もう一つ大事なことは、出来るだけ軽い運動を行う事です（テレビでも放映あり）。1日 30 - 40 分程度の散歩などが勧められます。軽い運動により、海馬の神経細胞の再生が起こるとされています。患者さんにもなるべく散歩をするように指導をしています。

認知症に対する治療効果：

これまで認知症に対する治療効果（特にアルツハイマー型）を報告してきました。認知症の一步手前の状態（軽度認知機能障害と言います）或はごく軽度のアルツハイマー型認知症の患者さん（110 例余り）に、コリンエステラーゼ阻害薬、ビタミン E そして EPA（高脂血症のある患者さんの場合）を投与し、認知機能の変化を検討しました。平均 1 年 6 ヶ月経過をみた結果、約 80% の患者さんは、認知機能が維持されるか改善がみられました。脳血流シンチで評価した患者さんの中には、血流低下部位の改善のみられた例もあります。以上から、それらの薬剤の治療介入効果はあると考えています。

最近、認知症が軽度の段階から早期に治療介入を行う方が良いとされています。認知症が進んでしまうと、脳の変性も進んでしまっているので、治療効果があまり期待できないと考えられます。

認知症の問題点：

認知症は徐々に悪化し、しばしば周辺症状（暴言、乱暴、易怒性、徘徊など）がみられ、家族による介護が大変になることです。その為、介護認定を受けてデイサービス、ヘルパーさん、訪問看護などを活用する事が、家族の負担を減らす上で大事です。

物忘れ外来のご案内

概要：

主に認知症などの診療を行います。診療および治療は脳神経外科専門医である当院院長の長沼先生が担当いたします。

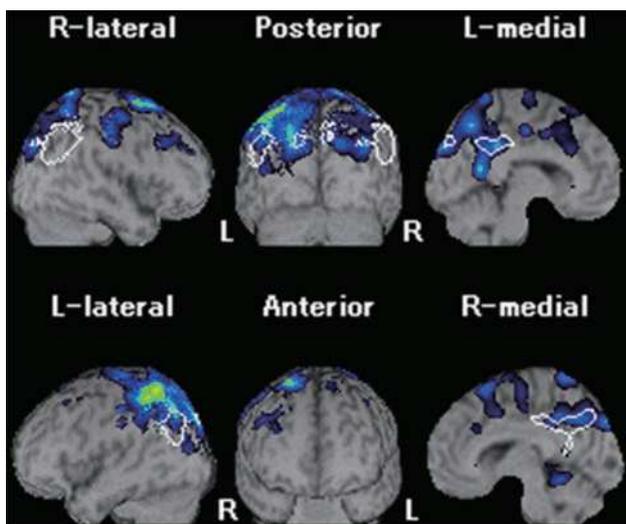
診察：

まず脳外科外来を受診していただき、簡易知能評価と日常生活物忘れスクリーニング検査による認知症のスクリーニングを行います。

また、採血検査、MRI 検査を行い、その結果を見て神経心理検査を行います。認知症が疑われる場合、SPECT 検査が行われます。

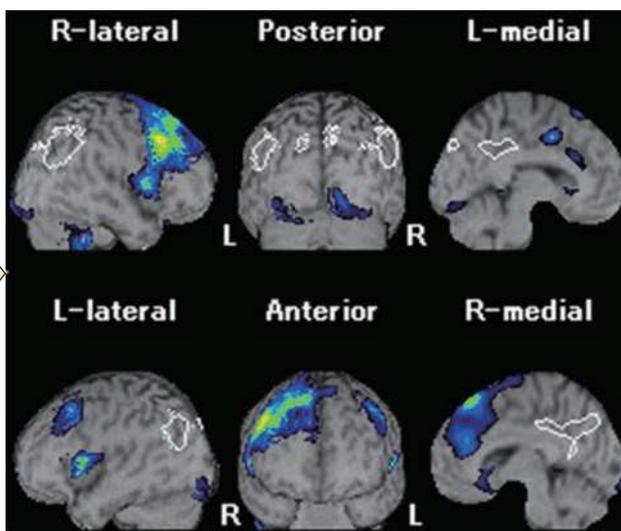
※脳外科外来は月～金の午前中に診察を行っています。
（長沼院長の担当曜日は月～木となります）

脳血流シンチ検査 SPECT画像

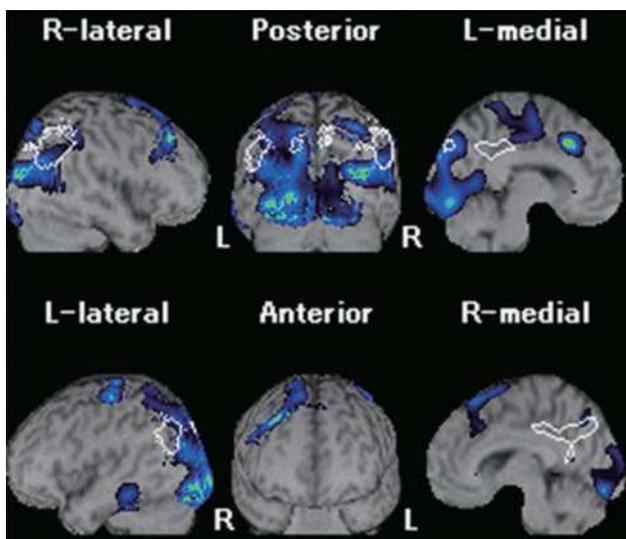


アルツハイマー型認知症：
頭頂葉、帯状回後部に血流低下
がみられるのが特徴

前頭側頭葉変性症：
前頭葉に血流低下がみられる
のが特徴



レビー小体型認知症：
後頭葉に血流低下がみられる
のが特徴



平成 26 年度一日平均患者数

入院

※ 9 月分及び年間累計は 9 月末日現在（小数点以下第 2 位は四捨五入）

月別 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般	109.9	92.9	94.7	114.3	103.6	108.7							104.0
重心	125.0	126.0	126.8	125.7	125.7	125.5							125.8
計	234.9	218.9	221.4	240.0	229.3	234.1							229.8

外来

※ 9 月分及び年間累計は 9 月末日現在（小数点以下第 2 位は四捨五入）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	264.3	274.1	268.7	277.8	264.3	299.2							274.5

てんじん文化祭 2014

10年の時を超えて～みつめる・つたえる・つなげる～

保育士 岩崎 真由美

10月8日に重症心身障害病棟で文化祭が行われました。今年の10月で重症心身障害病棟が甲府病院の地に移転し10年を迎えます。10周年のお祝いも兼ねて多数のボランティアに協力をいただき、病院をあげての盛大な開催となりました。療育訓練棟のイベントでは元職員によるサックス演奏や、地元で活動中のピエロさんがタップダンスやバルーンアート等を披露してくれました。そして、ご当地ならではの、ヴァンフォーレ甲府のヴァンくんも駆けつけ、みんなと一緒に写真を撮りました。6・7・8病棟のデイルームでは職員の仮装や様々な模擬店が登場しました。



クラウン タケとみや & リバティー



日頃からボランティアでお世話になっている山梨大学の学生さんによる似顔絵コーナー、アロマオイルによるハンドトリートメント、栄養管理室が出店したパフェ屋さん、ジュース屋さん。リハビリテーション科の職員はビーズで素敵なアクセサリを作ってくれました。また、病棟の一角では、懐かしのアルバムや普段の療育活動で使用している楽器や遊具を展示し、癒やしの空間や自由に触って体験できるコーナーを設けました。

療育訓練棟では作品展として療育活動を通して利用者で制作した、四季の彩りを表した富士山や、季節の果物を飾っています。また、病院紹介として各部署のポスターや思い出のアルバムを設置しています。10月中は展示月間として平日開放していますので、お時間のあるときに足を運んでみてください。

病院がプラネタリウム

主任保育士 片桐 有佳

9月8日と29日、重症心身障害病棟にプラネタリウムがやってきました。どちらの日も午前には療育訓練棟にドームを設置し、午後は各病棟のホールでシアター投影を行いました。入所生活では、なかなか体験できない「星空を見る」ということを体で感じることができた貴重な機会でした。ドームでは頭上に広がる満点の星空や鮮やかな星座の絵柄に、シアター投影では大きく広がる宇宙空間に、視線が釘付けになっている人もいました。



逆に普段とは違う暗さに怖がる表情の方も見受けられました。また、当日はピエロさんも来院され、ドームの順番を待っている間や、シアターとは別の病棟でバルーンアートの披露がありました。病棟ではベッドサイドへの訪問に、驚いたり喜んだりする様子が見られました。カラフルな衣装に見とれている間に次々と完成するバルーンアート、リクエストしたものやかわいい動物のプレゼントがあり、手に持って楽しんだりベッドに飾ったり。それぞれに楽しい時間を過ごすことができたようです。

訓練棟に設置したドームの前で、ピエロさんによるバルーンアート作り。さてさて、何ができるのかな。



ひまわりつうしん



療育指導室 保育士 林野 このみ

こんにちは。少しずつ朝晩の冷え込み・陽が短くなるにつれて秋を感じるようになりましたね。今年8月も、ひまわりでは定員10名での受け入れを行いました。普段より人数が多い中で、プールや制作活動など安全且つ楽しく過ごすことが出来ました(*^_^*) 日頃なかなか関わることの出来ないスタッフや利用者同士との関わり合いの中で、新たな発見や成長を間近で見られたことに喜びを感じました。ただ、異常気象により天候が変わりやすく、体調を崩す方が多かったです。気温の変化に留意した服装を心がけ、今後もひまわりでみなさまと元気にお会い出来る事を楽しみにしています。

さて、ひまわりで行っている「テーマ」に沿った活動の中身をご紹介します。

7月『水を感じよう』ということで、量の違う水が入ったコップを鳴らす音楽的な活動や水の実験、夏祭りも実施されました。

8月『色々な人と遊ぼう』は、夏期休暇ということで様々な人と関わるプールやみんなで一つの作品を作ろうと制作活動を...完成品は下記で紹介します。

9月『季節の移り変わりを楽しもう』では、秋に関連する制作活動・ゲームを取り入れました。また、夜空がきれいな秋。そんな夜空をみんなで体験する「プラネタリウム」を行い、感動的な星空に魅了されました。ピエロさんも登場し、可愛いバルーンアートのプレゼントに大喜び!!

みんなで作った☆ついで☆

手形・足形をどって、春夏秋冬*季節の物*の形に貼りました。

春



チューリップ

夏



ひまわりとお魚

秋



とんぼとコスモス

冬



クリスマスツリー



実習生やボランティアの受け入れも行っていきます。お気軽にお声かけ下さい!



通所支援事業 ひまわり 問い合わせ先

ご相談：055-240-6217(直通)

ご予約：055-253-6131(代表)

医事入院係 (内線 2138)

看護部だより

「手術室を紹介します」

手術室看護師長 大家 真由美

手術室は、看護師長を含め 12 名の看護師と麻酔科医 1 名が働いています。ここでは、整形外科・外科・産婦人科・眼科の手術を行っています。平成 25 年度の手術件数は、1,241 件でした。近年の手術は、大きな傷で手術を行う方法から、患者さんの体の負担を軽くすることを考えた小さな傷で手術を行う方法に変化しています。当院でも、整形外科では膝関節鏡視下手術、消化器外科では腹腔鏡視下手術等、体内の映像をテレビ画面で見ながら行う手術が増えてきました。私達は、常に新しい知識と技術を習得するために努力しています。

手術を受ける患者さんは、病気の心配に加え、麻酔や手術に対する不安もあります。私達は、できる限りそんな患者さんの不安を軽くしたいと思い、手術の前に病室を訪問しています。そして、手術と一緒にいる看護師であることを自己紹介し、手術当日の流れの説明と、質問にお答えしています。患者さんが手術室に入る時、知っている看護師の顔があると安心していただけていると考えています。また、手術前訪問で得た情報は手術室スタッフ全員でカンファレンスをし、個々の患者さんに応じた万全の準備をしてお待ちしています。



手術前カンファレンス

安全な手術の一環として、患者さんの名前と手術をする部位の確認を徹底して行っています。1 回目は手術前訪問時、2 回目は手術室に入る時、3 回目は麻酔をかける直前に、お名前と手術をする部位を患者さんに答えていただきます。そのつど、患者さんと手術室スタッフが間違いのないことを一緒に確認します。特に手術が始まる直前は、手術に関わる医師・麻酔医・手術室看護師・臨床工学技士等全員が確認します。このように、患者さんと医療者が協力することで事故を防止しています。



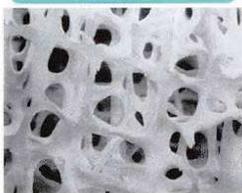
手術開始時の患者さんの名前確認

患者さんにとって手術を受けるということは、人生の一大イベントです。しかし、手術中の不安や怖い思いは患者さんの記憶に残したくはありません。患者さんの苦痛を最少にし、手術を予定通り何事もなく終わることが私達の目標です。そして、早く元の生活に帰り日常を過ごしてほしいと願っています。そのために、医師・麻酔科医・病棟看護師・その他の医療スタッフと連携を取り、患者さんに、できる限りの安全と安心を提供したいと思っています。

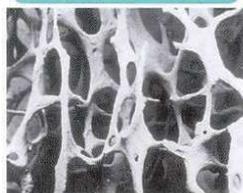
糖尿病お食事会のご案内

(平成26年10月25日開催)

健康な人の骨



骨粗鬆症の患者さんの骨



- ・11月14日(金)の世界糖尿病デーの一環として、当院では、「骨と糖尿病」をテーマにお食事会を開催します。
- ・高齢化社会を迎え、糖尿病患者さんの中にも骨粗鬆症に悩む方が増えており、中には図のように骨がスカスカになり骨折や転倒を起して寝たきりになることがあります。
- ・糖尿病のお話に加えて、当院の整形外科萩野統括診療部長の講演や無料の骨密度測定なども企画しています。
- ・美味しく食べながら血糖コントロールとカルシウム・ビタミンD摂食の両立について学びましょう！

NHO甲府病院
糖尿病療養指導チーム「てんじん」



骨と糖尿病
～カルシウムと糖尿病の意外な関係～

○世界糖尿病デーイベント○

糖尿病教室お食事会

日 時：平成26年10月25日(土)
受付開始 10:30～ 開演開始 11:00～予定

場 所：独立行政法人国立病院機構
甲府病院 大会議室(4階)

内 容：骨と糖尿病
實際にお食事を食べながら学びましょう！

参加費用：1,500円(食事・資料代込)
定 員：50名(先着順 定員になり次第締め切り)
主催：糖尿病療養指導チーム「てんじん」

◆お申し込み・問い合わせ先◆ NHO甲府病院 地域連携室
TEL：055-240-6223(直通)
FAX：055-240-6225(直通)
受付時間：8:30～17:00(月曜日～金曜日)

甲府病院

医療安全管理室より

「患者誤認予防活動について」

6病棟看護師 佐藤 梢

当病棟は人工呼吸器で呼吸管理をしている患者さん、日中はフロアで過ごし自立移動ができる患者さんと幅広い生活援助を行っています。また知的・肢体不自由があるため発達段階に応じたきめ細かい対応に心がけています。

6病棟は年齢層も幅広く、長期入院患者の高齢化も進んでいます。特に重要な痙攣コントロール治療の一環である内服管理においては、自ら名前の言えない患者さんに対しては、顔写真付きベッドネーム・車椅子・衣服に書かれている名前と処方箋で確認し、自分の名前が言える患者さんに対しては、自ら名前を言ってもらい処方箋と確認しています。

スタッフ一丸となり、安全で確実な内服ができるように患者誤認予防に取り組んでいます。



食事の時に、看護師が1人1人の氏名を確認して与薬しています



外来医師担当表

平成 26 年 10 月 1 日現在

…女性医師等

			月	火	水	木	金
一階診察室	消化器内科	診察室	廣 瀬	稲 岡	鈴木(雄)		稲 岡
	消化器外科	診察室 1	鈴木(哲)	浅 川		鈴木(哲)	牧
		診察室 2	浅 川		高橋(ひ)	(乳腺外来) 高橋(ひ)	第1・3・5週 鈴木(哲) 第2・4週 浅川
		化学療法 (5階)	診察室 1		高橋(ひ)	鈴木(哲)	
		診察室 2			浅 川		
	内 科	診察室 3	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊
		診察室 4	黒 澤	黒 澤	黒 澤		黒 澤
		診察室 5	川 口	古 屋	古 屋	中 尾	太田(一)
	呼吸器内科	診察室 4	午前			樋 田	
		診察室 6	午後			細 萱	
循環器内科	診察室 6	薬 袋	中村(淳)		薬 袋		
神経内科	診察室 7			太田(恵)		太田(恵)	
脳神経外科	診察室 8	長 沼	長 沼	長 沼	長 沼	大学医師	
皮膚科	診察室 9 (共用)		安 藤				
整形外科	診察室 10 (共用)				整形外科		
整形外科 (スポーツ・膝疾患治療センター)	1	萩 野		装具外来	萩 野	萩 野	
	2		渡 邊	渡 邊	渡 邊		
	3	落 合	落 合		落 合		
	4	千 賀		千 賀		千 賀	
	5	装具外来					
検 査 室	内視鏡	午前(上部)			村 松	北 橋	
		午後(下部)			大学医師 渡邊		
	超音波	午前	腹部 検査科	腹部 検査科	心臓 薬袋		腹部 検査科
		午後				心臓 薬袋	
小 児 科	1	内 田	内 田	加 賀	久 富	久 富	
	専門外来 1 (午後・予約のみ)	久富・勝又 (循環器・フォローアップ)	久富・大学医師 (フォローアップ・乳児健診)	神 経 加賀	予 防 接 種	フォローアップ 中村(幸) 代 謝 内田	
	専門外来 2 (午後・予約のみ)	神 経 加賀	循環器 勝又			篠原 (フォローアップ・乳児健診)	
	専門外来 3 (午後・予約のみ)	神 経 神谷	神経 中村(幸)	神 経 石井	第 1・3 週 小野 (摂食)		
産婦人科	1	滝 澤	雨 宮	菊 嶋	雨 宮	滝 澤	
	2 (予約のみ)	雨 宮	菊 嶋	大学医師	滝 澤	菊 嶋	
	3	妊健 助産外来			妊健 助産外来		
眼 科		予約のみ 地 場	地 場	地 場		地 場	
泌尿器科 (予約のみ)		奇数週 大学医師					
耳鼻咽喉科					矢 崎		

●受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)
(※水曜日午後呼吸器内科の受付時間は13:00～15:30です(診察13:00～16:00))

※右記のものについて ●小児科 専門外来 ●予防接種(小児科) 毎週木曜日 ●乳がん検診 毎週水・木曜日
ては事前の予約が必要となります。 ●乳児健診 毎週火・金曜日 ●人間ドック 毎週水・木曜日 ●脳ドック 毎週月・火曜日午後
●毎月第4金曜日 糖尿病教室 黒澤医師

特殊外来ご案内

・「乳腺外来」については、毎週水・木曜日の午前中に高橋医師(女性)が診察します。乳房にしこりなどの異常を感じたら、すぐに受診されることをお勧めします。

・「物忘れ外来」については、脳神経外科で行っています。ご家族が「忘れることが多い」と気づいたら、受診されることをお勧めします。

作品募集

「てんじん」に掲載する写真等の作品を募集しています。
★宛先 国立病院機構甲府病院 経営企画係 山田
e-mail:yamada-m@nhokoufu.hosp.go.jp

◇平成 26 年度 職員採用案内◇

看護助手・薬剤師の募集(パート)は随時行っています。

申し込み方法	*下記の電話番号に(土日休日以外)直接ご連絡下さい。
連絡先	国立病院機構甲府病院 庶務係長 TEL:055-253-6131 FAX:055-251-5579

編集後記

いつの間にか10月に入り、それでもまだ半袖で過ごせる日が続いていますが、病院の近所のお庭から、鈴なりのザクロの枝が垂れ下がっていて、秋を感じさせてくれています。ここ数年、春や秋が短くなったような気がします。なおさらに季節に気付く心のゆとりが大事ですよ。皆さんは小さい秋をいくつか見つけましたか?(MM)